



日刊労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

93.2.18 No. 3742

明日貨物1波スト!

新小岩・佐倉松点に結集しよう

2月19日正午、佐倉・新小岩へ

新小岩・佐倉両支部のストライキを全組合員の力で包み込み、支援しよう

現在でさえ極端な仕業—深夜帯の集中する業務が、さらに深刻なものとなるとしている。貨物職場の労働者の怒りをわれわれは共有し、「JR体制」を打倒しなければならない。

たび重なる合理化攻撃は、一方における安全の危機を進行させるものであり、労働者の労働強化を強制するものである。

JR貨物は、この年度末までに500名の要員合理化・出向計画(内非現業150名)を具体化に移し、「九三・三ダイ改」においては、関東支社管内で104名の要員削減計画を明らかにしている。

「貨物八〇〇人体制」攻撃は、すでに明らかにしたように、「分割・民営化」体制の見直し攻撃に他ならない。

この闘いは、①年度末差額〇・五カ月分の格差獲得、②「九三・三ダイ改」阻止を獲得目標として闘い抜かれる。

明日一九日、貨物職場の組合員は怒りの全てをかけて、新小岩・佐倉両拠点において、乗務員が〇時より一四時まで、地上勤務者が一三時より一四時までの春季第一波ストに決起する。

青年部長 佐藤正和

北部方面隊PKO第2次出兵阻止、北海道第1波行動報告

第三種郵便物認可

第2社会面



PKO第2次派遣阻止

決起集会

二月一四～一五日、カンボジア第二次出兵阻止、第一波北海道闘争が道警察と革マルの敵対を打ち破り、圧倒的にかちとらされました。青年部派遣団も、北海道の闘う仲間と共に闘争を貫徹してきました。

一四日の闘いは、北海道反戦共同行動委員会(準)主催による第二次出兵阻止全国総決起集会が一三五名の結集で行なわれ、その後、東京の仲間にに対する不当逮捕をはねかえし、陸自北部方面隊総監部へ派兵反対の申し入れ行動、吹雪をついての札幌市内デモと大成功でした。

三施設団(第二次出兵される予定の部隊)に対する派兵反対の

二月一四～一五日、カンボジア第二次出兵阻止、第一波北海道闘争を出発点に、3月の本格的闘いとして、第二次出兵阻止は私たちの絶対的使命ではないでしょうか。

今回の第一波闘争を出発点に、動労千葉は全力の闘いを開始します。

いま、カンボジアでは、内戦が激化し、PKO五原則に照らしても、自衛隊は即時撤兵すべきなのに、第一次派兵から、自衛隊の国連軍への参加、改善が叫ばれ、四月には天皇が沖縄に訪問しようとしているなど、攻撃はとんでもないエスカレートをしています。

この日は、共同行動委員会のメンバーが「現在はもうPKOの前提となっている5原則すらも守られていない状況。今後、派兵を許すことがあれば、侵略戦争へつながる派兵阻止に向けて、みんなで一致団結し、金力を挙げて戦おう」と述べ、気勢を上げた。このあと、メンバーは陸上自衛隊北部方面総監部へ請願行動を行い、市内中心部をデモ行進した。また、15日は恵庭駐屯地にも請願書を提出する予定。

陸上自衛隊北部方面隊の主催を中心とした今春、カンボジアに派遣されることが予定されているPKO第2次派遣を阻止しようと決起集会が14日、札幌市中央区民センターで開かれた。反戦同盟PKO派遣に反対し、人団体など約10の団体が加盟。PKO派遣に反対し、昨年4月に結成された。

2/15

北海タイムス